

②平成 22 年度（2010 年度）子どもと本のつどい

市立図書館では年 2 回豊中子ども文庫連絡会と共催で、子どもの本や読書、子どもに関わる方を講師にお迎えして「子どもと本のつどい」を開催しています。今年度は 10 代の若者（YA 世代）から一般対象にパート 1、小学生向けにパート 2 を行いました。

パート 1 10月30日（土）

第 1 部 穂村弘講演会「短歌の楽しみ」

第 2 部 短歌ワークショップ「そうや、短歌を詠もう」

パート 1 には、歌人でエッセイ等でも活躍されている穂村弘さんをお迎えしました。

講演会では短歌の楽しみ方や詠み方をまったくの初心者にも分かりやすくご講演いただき好評でした。

またアンケートから、市立図書館の行事に参加したことのなかった市民の参加が多かったことが分かり、図書館や子ども文庫の活動を知っていただく良い機会にもなったと思います。



第 2 部では、ここ数年ケータイなどで気軽に短歌を楽しむ若い人が増えているということで、穂村さんを講師に 10 代を対象とした短歌作りのワークショップを行いました。短歌だけでなく言葉にまつわる様々な余談も飛び出して、参加者全員が創作の楽しさ、言葉の奥深さを体験できた会となりました。

パート 2 12月19日（日）

第 1 部 講演会「写真絵本『ホネホネたんけんたい』ができるまで」

第 2 部 子どもワークショップ「ホネのレプリカをつくろう！」

パート 2 の講師は、大阪市立自然史博物館を拠点に活動する標本制作チーム「なにわホネホネ団」の団長西澤真樹子さんでした。

第 1 部では骨の不思議や秘密を解説した著書『ホネホネたんけんたい』をもとに、骨の仕組みを楽しくお話しいただきました。第 2 部ではテン、ムササビ、サルの下あごの骨の型と紙ねんどを使って骨のレプリカを作りました。



関連する取り組みの番号 13